

管理栄養士国家試験 出題基準（ガイドライン）

『クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説2023-24』掲載問題対応表



●これは本書『クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説2023-24』に掲載されている問題が、管理栄養士国家試験出題基準（令和5年1月5日発表）でどの項目に該当するか*をまとめた資料です。学習のための参考資料としてご活用ください。

*複数項目に重複する内容を含む問題も多くございますので、あくまで目安としてご覧ください。
表中に該当する問題の記載がない場合でも、他の問題にその内容が含まれている場合がございます。

■ガイドラインの見方■

大項目：中項目を束ねる見出し。

中項目：大項目に示される範囲内の各論的知識。管理栄養士国家試験の出題の範囲となる事項。

小項目：中項目に関する内容をわかりやすくするためのキーワード。これは、大項目、中項目に関連して出題される。出題範囲は記載された事項に限定されず、標準的な学生用教科書に記載されている程度の内容を含む。

〈 〉：関連する出題基準を示す。主として〈 〉内の出題科目部分で基本的事項について出題するが、その応用については当該出題科目でも出題する。

《 》：臨床栄養学において、疾患名については《 》内の出題科目部分を参照とする場合。

■掲載問題番号とページ番号の見方■

表中の大項目と中項目のアミかけ部分に問題番号とその掲載ページが記載されています。

例：問14001 p2 → 本書の2ページに掲載の14001番（2014年国試1番目）の問題

●社会・環境と健康

〈出題のねらい〉

○健康とは何か、そして人間の健康を規定する要因としての社会・環境に関する知識を問う。

○人々の健康状態とその規定要因を測定・評価し、健康の維持・増進や疾病予防に役立てる考え方とその取組についての理解を問う。

○保健・医療・福祉制度や関係法規の概要についての知識を問う。

大項目	中項目	小項目
1 社会と健康	A 健康の概念	a 健康の定義 b 健康づくりと健康管理
	B 公衆衛生の概念	a 公衆衛生と予防医学の歴史 b 公衆衛生の定義と目的 c 公衆衛生と予防医学；一次・二次・三次予防 d プライマリヘルスケア e ヘルスプロモーション f 公衆衛生活動の進め方；リスクアナリシス、マネジメントサイクル、地域診断 g 予防医学のアプローチ；ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、予防医学のパラドックス
	C 社会的公正と健康格差の是正	a 社会的公正の概念 b 健康の社会的決定要因、健康格差
2 環境と健康	A 生態系と人々の生活	a 生態系と環境の保全 b 地球規模の環境
	B 環境汚染と健康影響	a 環境汚染；大気汚染、水質汚濁、土壤汚染 b 公害
	C 環境衛生	a 気候、季節 b 空気 c 湿度 d 放射線 e 上水道と下水道 f 廃棄物処理 g 建築物衛生
3 健康、疾病、行動に関する統計資料	A 保健統計	a 保健統計の概要
	B 人口静態統計	a 人口静態統計と国勢調査 b 人口の推移；総人口、人口ピラミッド、人口指標 c 世界の人口
	C 人口動態統計	a 人口動態統計と各指標の届出制度 b 出生 c 死亡 d 死因統計と死因分類（ICD） e 年齢調整死亡率；直接法、標準化死亡比 f 死産、周産期死亡、乳児死亡、妊娠婦死亡
	D 生命表	a 生命表 b 平均余命と平均寿命 c 健康寿命
	E 傷病統計	a 患者調査 b 国民生活基礎調査
	F 健康増進に関する統計	a 国民健康・栄養調査 b レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）、国保データベース（KDB）
	A 疫学の概念と指標	a 疫学の定義、対象と領域 b 疾病頻度の指標；罹患率、累積罹患率、有病率、致死率、死亡率 c 曝露因子の影響評価；相対危険、ハザード比、オッズ比、寄与危険

大項目	中項目	小項目
5 生活習慣（ライフスタイル）の現状と対策	B 疫学の方法	<p>16005 p31, 20004 p34, 22005 p31</p> <p>a 記述疫学 b 横断研究 c 生態学的研究（地域相関研究） d コホート研究 e 症例対照研究 f 介入研究 g ランダム化比較試験</p>
	C バイアス、交絡の制御と因果関係	<p>a バイアス：選択バイアス、情報バイアス b 交絡と標準化 c 疫学研究の評価と因果関係のとらえ方、Hill の判定基準</p>
	D スクリーニング	<p>14008 p38, 17084 p35, 21005 p35, 22006 p36, 23006 別冊p3</p> <p>a スクリーニングの目的と適用条件 b スクリーニングの精度：敏感度、特異度、陽性反応の中度、ROC 曲線</p>
	E 根拠（エビデンス）に基づいた医療（EBM）及び保健対策（EBPH）	<p>17185 p106, 19006 p39</p> <p>a エビデンスの質のレベル b 系統的レビューとメタアナリシス c 診療ガイドライン、保健政策におけるエビデンス</p>
	F 疫学研究と倫理	<p>18006改 p40</p> <p>a 人を対象とした研究調査における倫理的配慮：研究倫理審査 b インフォームド・コンセントとオプトアウト c 利益相反</p>
	A 健康に関連する行動と社会	<p>21006 p41, 21007 p42, 22144 p44, 23156 別冊p38</p> <p>a 健康の生物心理社会モデル b 生活習慣病、NCDs の概念 c 健康日本21（第二次）※ ※次期国民健康づくり運動開始後は、当該内容を含むこととする。</p>
6 主要疾患の疫学と予防対策	B 身体活動、運動	<p>18007 p50, 22007 p49, 23007 別冊p4</p> <p>a 身体活動・運動の現状 b 身体活動・運動の健康影響 c 健康づくりのための身体活動基準及び指針</p>
	C 喫煙行動	<p>19007 p52, 21008 p51, 22008 p53</p> <p>a 喫煙の現状 b 喫煙の健康影響と社会的問題 c 禁煙サポートと喫煙防止 d 受動喫煙防止 e その他のたばこ対策</p>
	D 飲酒行動	<p>18008 p54, 23008 別冊p4</p> <p>a 飲酒の現状 b 飲酒の健康影響と社会的問題 c アルコール対策と適正飲酒</p>
	E 睡眠、休養、ストレス	<p>20006 p55</p> <p>a 睡眠と生活リズム b 睡眠障害と睡眠不足の現状、睡眠指針 c 休養の概念と休養指針 d ストレスの概念とストレスマネジメント</p>
	F 歯科口腔保健	<p>17008 p56</p> <p>a 歯・口腔の健康と食生活 b 歯・口腔と全身の健康 c 歯科口腔保健行動 d 歯科口腔保健対策</p>
	A がん	<p>16009 p58, 18009 p43, 21009 p57, 22009 p59</p> <p>a 主要部位のがん b がん対策：がん対策基本法、がん対策推進基本計画、がん登録、がんと就労 c がん検診</p>
7 心血管疾患	B 循環器疾患	<p>19010 p60, 20008 p23, 22010 p59, 23009 別冊p4</p> <p>a 高血圧 b 脳血管疾患 c 心疾患</p>
	C 代謝疾患	<p>20007 p61, 23010 別冊p4</p> <p>a 肥満、メタボリックシンドローム b 糖尿病 c 脂質異常症</p>
	D 痛風	<p>21008 p50, 22008 p51, 23008 p52</p> <p>a 痛風の現状 b 痛風の原因 c 痛風の対策</p>

大項目	中項目	小項目
7 保健・医療・福祉の制度	D 骨・関節疾患	22011 p606 a 骨粗鬆症、骨折 b 変形性関節症 c ロコモティブシンドローム
	E 感染症	18012 p64, 20011 p62, 21010 p61, 23011 別冊p5 a 主要な感染症 b 感染症法 c 検疫と予防接種、感染症対策
	F 精神疾患	 a 主要な精神疾患 b 精神保健対策 c 認知症
	G その他の疾患	 a CKD b 呼吸器疾患：COPD c 肝疾患 d アレルギー疾患 e 難病法と難病対策
	H 自殺、不慮の事故、虐待、暴力	13013 p65, 21011 p66, 23012 別冊p5 a 自殺 b 不慮の事故 c 虐待、暴力
	A 社会保障の概念	19011 p67, 23013 別冊p5 a 社会保障の定義と歴史 b 公衆衛生と社会保障
	B 保健・医療・福祉における行政のしくみ	 a 国の役割と法律 b 衛生法規の定義とその内容 c 地方自治のしくみ；地方自治法 d 都道府県の役割 e 市町村の役割 f 他職種の役割と連携
	C 医療制度	19012 p71, 20015 p70, 21012 p68, 22013 p73, 23014 別冊p5 a 医療保険制度 b 医療施設と医療従事者 c 医療費 d 医療法と医療計画 e 保険者の役割とデータヘルス計画
	D 福祉制度	19013 p74 a 福祉制度の概要と関連法規；児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、障害者総合支援法、老人福祉法 b 社会福祉 c 障害者福祉 d 在宅ケア、訪問看護
	E 地域保健	19014 p76, 21013 p76, 22012 p75, 23015 別冊p5 a 地域保健活動の概要 b 地域保健法 c 保健所と従事者 d 市町村保健センターと従事者 e 地域における資源と連携 f 地域における健康危機管理；自然災害、感染症、食中毒
	F 母子保健	16150 p79, 22015 p77 a 母子保健の概要 b 母子保健法 c 母子健康手帳 d 乳幼児健康診査 e 新生児マスククリーニング f 健やか親子21 g 少子化対策；子ども・子育て支援新制度 h 児童虐待防止
	G 成人保健	13114 p82, 16160 p82, 17014 p80, 22191 p679, 22193 p679 a 生活習慣病の発症予防と重症化予防 b 特定健康診査・特定保健指導とその評価 c 高齢者の医療の確保に関する法律

大項目	中項目		小項目
	H 高齢者保健・介護	16015 p86, 17013 p90, 21015 p84, 22014 p84, 23016 別冊p6	a 高齢者保健と介護の概要 b 介護保険法 c 介護予防 d 要介護認定とケアマネジメント e 地域包括支援センター f 介護施設、老人保健施設 g 地域包括ケアシステム
	I 産業保健	17015 p91, 18017 p92, 21016 p93	a 労働と健康 b 労働安全衛生法 c 労働安全衛生対策：作業管理、作業環境管理、健康管理 d 産業保健従事者 e 職業と健康障害；産業疲労、職業病、作業関連疾患 f 労働災害 g メンタルヘルス対策、過労死対策
	J 学校保健	17016 p95, 19017 p94	a 学校保健の概要 b 学校保健統計；身体発育、体力、健康状態 c 学校保健安全法 d 学校保健安全対策 e 学校保健従事者 f 栄養教諭 g 学校感染症
	K 国際保健	20009 p9	a 地球規模の健康問題 b 国際協力 c 持続可能な開発目標（SDGs） d ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC） e 国際機関；世界保健機関（WHO）、国連食糧農業機関（FAO）、コーデックス委員会（CAC）

●人体の構造と機能及び疾病の成り立ち

〈出題のねらい〉

- 人体の構造や機能についての系統的な理解を問う。
- 主要疾患の成因、病態、診断及び治療についての知識を問う。

大項目	中項目	小項目
1 人体の構造	A 人体の構成 19018 p118, 20017 p119, 21017 p115, 22017 p120, 23017 別冊p6	a 細胞、組織、器官 b 細胞内の構造と機能 c 細胞の増殖・分化
2 アミノ酸・たんぱく質・糖質・脂質・核酸の構造と機能	A アミノ酸・たんぱく質の構造・機能 20018 p121, 21018 p123	a アミノ酸 b ペプチド c たんぱく質
	B 糖質の構造・機能 20048 p126, 22018 p125	a 单糖類 b 少糖類 c 多糖類 d 複合糖質
	C 脂質の構造・機能 18019 p129, 21019 p128, 23018 別冊p6	a 脂肪酸 b トリグリセリド c コレステロール d リン脂質 e 糖脂質
	D 核酸の構造・機能 19020 p132, 22019 p131, 23019 別冊p6	a スクレオチド b DNA c RNA d 遺伝情報の伝達と発現
3 生体エネルギーと代謝	A 生体のエネルギー源と代謝 20020 p134, 22020 p135	a 異化、同化 b ATP c 基質レベルのリン酸化 d 電子伝達系と酸化的リン酸化 e 脱共役たんぱく質(UCP)
	B 酵素 19022 p137, 21020 p138, 23020 別冊p6	a 酵素の分類 b 反応速度 c 活性の調節 d 補酵素、アイソザイム
4 アミノ酸・たんぱく質・糖質・脂質の代謝	A アミノ酸・たんぱく質の代謝 17022 p140, 21021 p142	a たんぱく質の合成 b たんぱく質の分解 c アミノ酸の分解:炭素骨格代謝、窒素代謝 d アミノ酸に由来する生体物質
	B 糖質の代謝 17023 p148, 20021 p148, 20070 p147, 23021 別冊p7	a 解糖系 b クエン酸回路 c ペントースリン酸回路 d グリコーゲンの合成・分解 e 糖新生 f 血糖の調節
	C 脂質の代謝 13026 p150, 22021 p150	a トリグリセリド・脂肪酸の代謝 b エイコサノイドの代謝 c コレステロールの代謝 d 脂質の輸送とリポたんぱく質の代謝
	D 核酸の代謝	a プリン・ピリミジンの代謝
5 個体のホメオスタシスとその調節機構	A 情報伝達の機構 18032 p153, 19024 p153	a 細胞間情報伝達 b 内分泌系と神経系による調節 c 受容体の構造と機能 d 細胞内情報伝達
	B ホメオスタシス 21022 p155, 22022 p156, 23022 別冊p7	a ホメオスタシスとフィードバック機構 b 体液のホメオスタシス c 体温の調節 d 生体機能の周期性変化(概日リズム)

大項目	中項目		小項目
6 加齢・疾患に伴う変化	A 加齢に伴う変化	18023 p159	a 分子レベルの老化 b 器官レベルの老化
	B 疾患に伴う変化	16024 p163, 22023 p161, 23023 別冊p7	a 炎症と創傷治癒 b 変性 c 壊死, アポトーシス d 萎縮・肥大 e 化生 f 良性腫瘍, 悪性腫瘍 g 発がんのメカニズム; がん遺伝子, がん抑制遺伝子
	C 個体の死		a 心臓死 b 脳死と植物状態
7 疾患診断の概要	A 主な症候	17119 p165, 20025 p165, 22024 p166	a バイタルサイン b 全身症候; 発熱, 全身倦怠感, 体重減少・増加, ショック, 意識障害, 不穏, けいれん, めまい, 脱水, 浮腫 c その他の症候・病態; チアノーゼ, 黄疸, 発疹, 咳血, 頭痛, 運動麻痺, 腹痛, 悪心, 嘔吐, 嘔下困難, 食欲不振, 便秘, 下痢, 吐血, 下血, 腹部膨隆, 腹水, 睡眠障害
	B 臨床検査	20024 p170, 21024 p167, 23024 別冊p7	a 種類と特性 b 基準値の考え方 c 一般臨床検査; 尿, 粪便, 咳痰 d 血液学検査 e 生化学検査 f 免疫学検査 g 微生物学検査 h 生理機能検査 i 画像検査
8 疾患治療の概要	A 種類と特徴	21025 p171	a 原因療法, 対症療法 b 保存療法, 根治療法
	B 治療の方法	17027 p172, 22025 p173, 23025 別冊p7	a 栄養・食事療法 b 運動療法 c 薬物療法 d 手術療法 e 輸液, 輸血, 血液浄化 f 臓器・組織移植, 人工臓器 g 放射線治療 h リハビリテーション i 再生医療 j 救急救命治療 (クリティカルケア) k 緩和ケア l 終末期医療 (ターミナルケア) m 尊厳死
9 栄養障害と代謝疾患	A 栄養・代謝に関わるホルモン・サイトカイン	20026 p174, 22026 p175	a インスリン抵抗性に関わるホルモン b 摂食調節に関わるホルモン
	B 栄養障害	22118 p505	a 飢餓 b たんぱく質・エネルギー栄養障害 (PEM), 栄養失調症 c 悪液質 d ビタミン欠乏症・過剰症 e ミネラル欠乏症・過剰症
	C 肥満と代謝疾患	10037 p185, 11149 p182, 17125 p186, 18126 p196, 20027 p177, 22119 p181, 23119 別冊p29, 23136 別冊p33	a 肥満, メタボリックシンドローム b 糖尿病 c 脂質異常症 d 高尿酸血症, 痛風
	D 先天性代謝異常症	21026 p199, 22116 p198	a アミノ酸代謝異常 b 脂質代謝異常 c 糖質代謝異常

大項目	中項目		小項目
10 消化器系	A 消化器系の構造と機能	17030 p201, 19030 p203, 21027 p201, 22027 p205, 23027 別冊p8	a 消化管の構造と機能 b 肝臓・胆嚢・脾臓の構造と機能 c 咀しゃく, 嘉下 d 消化管ホルモン e 消化, 吸収
	B 消化器疾患の成因・病態・診断・治療の概要	05015 p206, 11135 改 p217, 16030 p222, 17031 p212, 21028 p43, 22028 p223, 23028 別冊p8	a 口内炎, 舌炎 b 胃食道逆流症 c 胃潰瘍, 十二指腸潰瘍 d たんぱく漏出性胃腸症 e 炎症性腸疾患; クローン病, 潰瘍性大腸炎 f 過敏性腸症候群 g 便秘 h 肝炎 i 肝硬変 j 脂肪肝, NAFLD・NASH k 胆石症, 胆嚢炎 l 脾炎 m 腸閉塞 (イレウス) n 消化器系の悪性腫瘍
11 循環器系	A 循環器系の構造と機能	18028 p223, 21029 p225, 22029 p226, 23029 別冊p8	a 心臓の構造と機能 b 血管の構造と機能 c 体循環, 肺循環 d リンパの循環 e 血圧調節の機序
	B 循環器疾患の成因・病態・診断・治療の概要	11137追改 p266, 19031 p234, 19032 p238, 21030 p227, 22030 p241, 23030 別冊p8	a 虚血, 充血, うつ血 b 血栓, 塞栓 c 動脈硬化 d 高血圧症 e 虚血性心疾患; 狹心症, 心筋梗塞 f 不整脈; 心房細動, 心室細動, 心室頻拍 g 肺塞栓症 h 心不全 i 脳出血, 脳梗塞, くも膜下出血
12 腎・尿路系	A 腎・尿路系の構造と機能	07140 p246, 12038 p243, 21031 p242, 22031 p242, 22032 p244, 23031 別冊p8	a 腎臓の構造と機能 b 尿管・膀胱・尿道の構造と機能
	B 腎・尿路疾患の成因・病態・診断・治療の概要	11030 p157, 11041 p257, 11139 p250, 12140 p247, 23032 別冊p9	a 急性糸球体腎炎 b ネフローゼ症候群 c 急性腎障害 (AKI) d CKD; [糖尿病性腎臓病 (DKD); 糖尿病腎症], 慢性糸球体腎炎, 腎硬化症 e 血液透析, 腹膜透析
13 内分泌系	A 内分泌器官と分泌ホルモン	17034 p261, 21032 p262, 23026 別冊p7	a ホルモン分泌の調節機構 b 視床下部・下垂体ホルモン c 甲状腺ホルモン d カルシウム代謝調節ホルモン e 副腎皮質・髓質ホルモン f 膵島ホルモン g 性腺ホルモン
	B 内分泌疾患の成因・病態・診断・治療の概要	21033 p264, 22033 p270, 23033 別冊p9	a 下垂体の疾患 b 甲状腺の疾患 c 上皮小体 (副甲状腺) の疾患 d 副腎の疾患

大項目	中項目		小項目
14 神経系	A 神経系の構造と機能	19039 p271, 21034 p273, 22034 p272, 23034 別冊p9	a 神経系の構造と機能 b 体性神経系の構造と機能 c 自律神経系の構造と機能 d 感覚器の構造と機能
	B 神経疾患の成因・病態・診断・治療の概要	20033 p274	a 認知症 b パーキンソン病・症候群
15 呼吸器系	A 呼吸器系の構造と機能	20034 p277, 21035 p278, 23035 別冊p9	a 気道の構造と機能 b 肺の構造と機能 c 血液による酸素・二酸化炭素運搬の仕組み
	B 呼吸器疾患の成因・病態・診断・治療の概要	07045 p283, 19037 p284, 19135 p280, 22035 p284, 22129 p281	a COPD b 気管支喘息 c 肺炎 d 肺がん
16 運動器（筋・骨格）系	A 運動器系の構造と機能	17038 p288, 20036 p285, 21036 p286, 22036 p287	a 骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能 b 骨の成長 c 骨のリモデリング d 骨格筋の構造と機能
	B 運動器疾患の成因・病態・診断・治療の概要	18037 p291, 20037 p289, 20133 p292, 23036 別冊p9	a 骨粗鬆症 b 骨軟化症, くる病 c 変形性関節症 d フレイル e サルコペニア f ロコモティブシンドローム
17 生殖器系	A 生殖器系の構造と機能	14046 p294, 19040 p293	a 男性生殖器の構造と機能 b 女性生殖器の構造と機能 c 性周期, 排卵の機序
	B 生殖器疾患の成因・病態・診断・治療	20038 p300, 23037 別冊p9	a 男性生殖器疾患: 前立腺肥大, 前立腺がん b 女性生殖器疾患: 乳がん, 子宮体部がん, 子宮頸がん
	C 妊娠と分娩・妊娠合併症	21037 p296, 22037 p298	a 受精と胎児の成長, 胎盤 b 分娩, 乳汁分泌 c 妊娠高血圧症候群 d 妊娠糖尿病
18 血液・凝固系	A 血液・凝固系の構造と機能	21038 p302, 22038 p301, 23038 別冊p10	a 血球の分化・成熟 b 赤血球, 白血球, 血小板 c 血漿たんぱく質 d 凝固・線溶系
	B 血液系疾患の成因・病態・診断・治療の概要	15143 p309, 15199 p340, 19041 p304, 20039 p303, 21039 p305, 22039 p304, 23039 別冊p10	a 貧血 b 出血性疾患 c 白血病
19 免疫, アレルギー	A 免疫と生体防御	14049 p314, 20040 p311, 21040 p311, 22040 p310, 23040 別冊p10	a 特異的・非特異的防御機構 b 体液性免疫, 細胞性免疫 c アレルギー
	B 免疫・アレルギー疾患の成因・病態・診断・治療の概要	21041 p318, 22041 p317, 23041 別冊p10	a 食物アレルギー b 膜原病, 自己免疫疾患 c 免疫不全
20 感染症	A 感染症の成因・病態・診断・治療の概要	14014 p321, 18044 p322, 20042 p321, 22042 p320, 23042 別冊p10	a 病原微生物 b 性行為感染症 c 院内感染症 d 新興感染症, 再興感染症 e 抗菌薬・抗生物質

●食べ物と健康

〈出題のねらい〉

- 食品の分類、成分及び物性を理解し、人体や健康への影響に関する知識を問う。
- 食品素材の成り立ちについての理解や、食品の生産から加工、流通、貯蔵、調理を経て人に摂取されるまでの過程における安全性の確保、栄養や嗜好性の変化についての理解を問う。
- 食べ物の特性をふまえた食事設計及び調理の役割の理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1 人と食べ物	A 食文化と生活	a 食文化とその歴史的変遷 b 食生活の時代的変化 c 食物連鎖 d 食嗜好の形成
	B 食料と環境問題 22043 p347, 23043 別冊p11	a フードマイレージの低減 b 食料生産と食料自給率 c 地産地消 d 食べ残し・食品廃棄の低減
2 食品の分類、成分及び物性	A 分類の種類	a 生産様式による分類 b 原料による分類 c 主要栄養素による分類 d 食習慣による分類 e その他の分類
	B 植物性食品の分類と成分 14194 p559, 16049 p354, 17068 p350, 18046 p351, 19045 p352, 20044 p351, 20045 p359, 21043 p362, 21044 p363, 22044 p348, 22045 p376, 23044 別冊p11	a 穀類 b いも及びでん粉類 c 砂糖及び甘味類 d 豆類 e 種実類 f 野菜類 g 果実類 h きのこ類 i 藻類
	C 動物性食品の分類と成分 17045 p365, 20046 p364, 20047 p368, 21045 p367, 22047 p366, 23045 別冊p11, 23046 別冊p11, 23047 別冊p11	a 肉類 b 魚介類 c 乳類 d 卵類
	D 油脂類、調味料及び香辛料類、嗜好飲料類の分類と成分 20049 p371, 21046 p377, 22048 p372	a 油脂類 b 調味料及び香辛料 c 嗜好飲料類
	E 食品の物性 18051 p384, 19052 p378, 21048 p381	a コロイド；エマルション、ゾル・ゲル b レオロジー；非ニュートン流動

大項目	中項目	小項目	
3 食品の機能	A 一次機能	17050 p382, 20050 p385, 21047 p388, 21050 p385, 22049 p454, 23048 別冊p12, 23049 別冊p12, 23050 別冊p12	a たんぱく質 b 炭水化物；糖質、食物繊維 c 脂質 d ビタミン e ミネラル f 水
	B 二次機能	16051 p464, 17051 p392, 18068 p400, 19050 p389, 21049 p397, 21051 p395, 22050 p391, 22066 p399	a 色素成分 b 呈味成分 c 香気・におい成分 d テクスチャー
	C 三次機能	20052 p401	a 消化管内で作用する機能 b 消化管吸収後の標的組織での生理機能調節 c 保健機能食品の成分と機能
4 食品の安全性	A 食品衛生と法規	16053 p405, 19053 p403, 20053 p402, 21052 p404	a リスク分析；リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーション b 食品安全基本法と食品衛生法 c 食品衛生関連法規 d 食品衛生行政組織 e 国際機関；世界保健機関（WHO）、国連食糧農業機関（FAO）、コーデックス委員会（CAC）
	B 食品の変質	18056 p411, 20054 p410, 22051 p408, 23051 別冊p13	a 微生物による変質；腐敗 b 化学的変質；油脂の酸敗 c 変質の防止法 d 鮮度・腐敗・酸敗の判定法
	C 食中毒	17054 p406, 19056 p414, 20056 p419, 21054 p418, 22052 p415, 22053 p416, 23052 別冊p13, 23053 別冊p13	a 食中毒の定義 b 食中毒の発生状況 c 細菌性食中毒 d ウイルス性食中毒 e 自然毒食中毒 f 化学性食中毒
	D 食品による感染症・寄生虫症	12061改 p422, 15060 p424, 17056 p421, 21055 p424, 22054 p423, 23054 別冊p13	a 経口感染症 b 人畜共通感染症 c 食品から感染する寄生虫症
	E 食品中の有害物質	14062 p429, 17057 p428, 17058 p430, 21056 p426, 23055 別冊p13	a かび毒（マイコトキシン） b 化学物質 c 有害元素・放射性物質 d 食品成分の変化により生ずる有害物質 e 混入異物 f 残留農薬；ポジティブリスト制
	F 食品添加物	17059 p433, 21057 p431, 22056 p432, 23056 別冊p14	a 食品添加物の役割 b 安全性評価；毒性試験、無毒性量（NOAEL）、一日摂取許容量（ADI）、使用基準 c 食品衛生法による分類と表示 d 種類と用途
	G 食品の安全性に関するその他の物質	16054 p413	a トランス脂肪酸 b BSE；プリオン c 環境ホルモン
	H 食品衛生管理		a HACCP の概念 b 食品工場における一般衛生管理事項 c 家庭における衛生管理 d 國際標準化機構（ISO）

大項目	中項目		小項目
5 食品の表示と規格基準	A 食品表示制度		a 食品表示法 b その他の法律；健康増進法、食品衛生法、JAS 法、景品表示法
	B 食品の表示方法	15065 p438, 16060 p442, 18061 p440, 19060 p435, 22057 p436, 22197 p499, 22198 p499, 23057 別冊p14	a 栄養表示；栄養成分表示、栄養強調表示 b 食品安全確保の表示；保存方法、遺伝子組換え食品、アレルゲン c 品質表示；原料・原産地表示、原材料名、賞味・消費期限
	C 食品の規格基準	19061 p444, 22055 p443	a 成分規格 b 製造・加工・調理基準 c 保存基準
	D 特別用途食品・保健機能食品の規格基準と表示	13068 p447, 17062 p444, 17064 p453, 18062 p450, 20060 p451, 22058 p446, 22059 p449, 23058 別冊p14, 23059 別冊p14	a 特別用途食品；病者用食品、妊娠婦・授乳婦用粉乳、乳児用調製乳、えん下困難者用食品 b 特定保健用食品；個別許可型、規格基準型、疾病リスク低減表示、条件付き特定保健用食品 c 栄養機能食品 d 機能性表示食品 e 虚偽・誇大広告などの禁止
	E 器具・容器包装の規格基準と表示		a 器具・容器包装の安全性の規格基準；ガラス、陶磁器、木口ウ、プラスチック製品 b 表示；識別表示、識別マーク
6 食品の生産・加工・保存・流通と栄養	A 食料生産と栄養		a 生産条件；場所、季節、栽培条件と栄養
	B 食品加工と栄養、加工食品とその利用	14068 p374, 14071 p476, 17049 p454, 17066 p460, 18049 p470, 18053 p464, 18064 p458, 19048 p468, 19062 p457, 19066 p463, 20061 p466, 20065 p370, 20066 p377, 21061 p349, 21062 p467, 22046 p357, 22060 p459, 22061 p469, 23060 別冊p15, 23061 別冊p15, 23062 別冊p15	a 食品加工の意義・目的 b 食品加工の方法 c 食品加工に伴う食品・栄養成分の変化 d 食品成分間反応 e 農産加工食品とその利用 f 畜産加工食品とその利用 g 水産加工食品とその利用 h 油脂、調味料、嗜好飲料とその利用 i 微生物利用食品とその利用 j 冷凍食品、インスタント食品、レトルトパウチ食品とその利用
	C 食品流通・保存と栄養	13052 p477, 19063 p474, 21063 p472, 22062 p473, 23063 別冊p15	a 食品流通の概略 b 食品保存の方法 c 流通環境と食品・栄養成分変化；温度、光、気相 d 保存条件と食品・栄養成分変化；水分活性、保存による変化、食品成分間反応
	D 器具と容器包装	21064 p478, 22063 p479	a 材料及び形態 b 包装による成分及び品質変化 c 素材による環境汚染

大項目	中項目	小項目
7 食事設計と栄養・調理	A 食事設計の基礎	a 食事設計の意義・内容 b 嗜好性の主観的評価・客観的評価
	B 調理の基本	a 調理の意義 b 非加熱・加熱調理操作の原理 c 热の伝わり方と効率的な加熱条件 d 代表的な調理器具の使用法 e 代表的な調理操作 f 食品の特徴に応じた調理の特性
	C 調理操作と栄養	a 調理操作による食品の組織・物性と栄養成分の変化 b 調理による栄養学的・機能的利点
	D 献立作成	a 献立作成条件と手順 b 供食, 食卓構成, 食事環境
	E 日本食品標準成分表の理解	a 食品成分表の構成と内容 b 食品成分表利用上の注意点

●基礎栄養学

〈出題のねらい〉

○栄養の基本的概念及びその意義についての理解を問う。

○エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1 栄養の概念	A 栄養の定義	a 栄養 b 栄養素
	B 栄養と健康・疾患	a 栄養学の歴史 b 欠乏症・過剰症 c 生活習慣病 d 健康増進
	C 遺伝形質と栄養の相互作用	a 栄養素に対する応答の個人差 b 生活習慣病と遺伝子多型 c 億約遺伝子
2 食物の摂取	A 空腹感・満腹感と食欲	a 空腹感・満腹感 b 摂食量の調節
	B 食事のリズムとタイミング	a 日内リズムと栄養補給
3 栄養素の消化・吸収と体内動態	A 消化・吸収と栄養	a 水溶性栄養素 b 非水溶性栄養素
	B 消化の過程	a 口腔内消化 b 胃内消化 c 小腸内消化 d 膜消化
	C 管腔内消化の調節	a 脳相、胃相、腸相 b 自律神経系による調節 c 消化管ホルモンによる調節
	D 吸収の過程	a 膜の透過 b 受動輸送・能動輸送・膜動輸送
	E 栄養素等の吸収	a 炭水化物 b 脂質 c たんぱく質 d ビタミン e ミネラル f 水
	F 栄養素の体内動態	a 門脈系 b リンパ系
	G 生物学的利用度	a 消化吸収率 b 栄養価
	H 栄養素の排泄	a 水溶性栄養素 b 非水溶性栄養素
4 炭水化物の栄養	A 糖質の体内代謝	a 糖質の栄養学的特徴 b 食後・食間期の糖質代謝 c 糖質代謝の臓器差と臓器間連携
	B 血糖とその調節	a インスリンの作用 b 血糖曲線 c 肝臓の役割 d 筋肉・脂肪組織の役割 e コリ回路、グルコース・アラニン回路
	C 他の栄養素との関係	a 相互変換 b ビタミン B ₁ 必要量の増加 c たんぱく質節約作用
	D 難消化性炭水化物	a 不溶性食物繊維、水溶性食物繊維 b 難消化性糖質 c 腸内細菌叢と短鎖脂肪酸

大項目	中項目		小項目
5 脂質の栄養	A 脂質の体内代謝	22074 p530, 23074 別冊p18	a 脂質の栄養学的特徴 b 食後・食間期の脂質代謝 c 脂質代謝の臓器差
	B 脂質の臓器間輸送	17079 p531, 21074 p529, 22073 p525	a リボたんぱく質 b 遊離脂肪酸 c ケトン体
	C コレステロール代謝の調節	21075 p533, 23075 別冊p18	a コレステロールの合成・輸送・蓄積 b フィードバック調節 c コレステロール由来の体成分 d 胆汁酸の腸肝循環
	D 摂取する脂質の量と質の評価	22075 p130	a 脂肪エネルギー比率 b 飽和脂肪酸, 一価不飽和脂肪酸, 多価不飽和脂肪酸 c n-6 系脂肪酸, n-3 系脂肪酸 d 必須脂肪酸 e 脂肪酸由来の生理活性物質
	E 他の栄養素との関係		a ビタミン B ₁ 節約作用 b エネルギー源としての糖質の節約作用
6 たんぱく質の栄養	A たんぱく質・アミノ酸の体内代謝	18073 p523, 20072 p522, 22072 p523, 23073 別冊p17	a たんぱく質・アミノ酸の栄養学的特徴 b 食後・食間期のたんぱく質・アミノ酸代謝 c たんぱく質・アミノ酸代謝の臓器差 d BCAA e アルブミン, RTP (rapid turnover protein)
	B 摂取するたんぱく質の量と質の評価	15198 改 p560, 20073 p525, 21073 p528	a 不可欠アミノ酸 b アミノ酸価 c たんぱく質効率 d 窒素出納, 生物価 e アミノ酸の補足効果
	C 他の栄養素との関係	15197 改 p560	a エネルギー代謝とたんぱく質 b 糖新生とたんぱく質代謝
7 ビタミンの栄養	A ビタミンの分類	19080 p542, 21077 p535, 22076 p537, 22077 p535	a 脂溶性ビタミン b 水溶性ビタミン
	B ビタミンの栄養学的特徴と機能	18078 p540, 19079 p540, 23076 別冊p18	a 補酵素とビタミン b 抗酸化作用とビタミン c ホルモン様作用とビタミン d 血液凝固とビタミン e エネルギー代謝とビタミン f 糖質・脂質・アミノ酸の代謝とビタミン g 核酸代謝とビタミン h 一炭素単位代謝とビタミン i カルシウム代謝とビタミン
	C ビタミンの吸収と体内利用	23077 別冊p18	a 脂溶性ビタミンと脂質の消化吸収の共通性 b 水溶性ビタミンの組織飽和と尿中排出 c 腸内細菌叢とビタミン d ビタミン B ₁₂ 吸収機構の特殊性
8 ミネラルの栄養	A ミネラルの分類	15086 p543, 17082 p543, 22079 p546	a 多量ミネラル b 微量ミネラル
	B ミネラルの栄養学的特徴と機能	18080 p549, 20078 p546, 22078 p549	a 硬組織とミネラル b 神経・筋肉の機能維持とミネラル c 血圧調節とミネラル d 糖代謝とミネラル e 酵素とミネラル
	C ミネラルの吸収と体内利用	21078 p547, 23078 別冊p18	a カルシウムの吸収と体内利用 b 鉄の吸収と体内利用

大項目	中項目		小項目
9 水・電解質の栄養的意義	A 水の出納	13199 p562, 15003 p618, 20079 p551, 21079 p551	a 代謝水 b 不可避尿 c 不感蒸泄 d 水分必要量 e 脱水, 熱中症 f 浮腫
	B 電解質代謝と栄養	13200 p562, 22080 p157, 23079 別冊p18	a 水・電解質・酸塩基平衡の調節 b 血圧の調節
10 エネルギー代謝	A エネルギー代謝の概念	20081 p556, 22081 p554, 23080 別冊p19	a 基礎代謝 b 安静時代謝 c 睡眠時代謝 d 活動時代謝 e メツツ (METs), 身体活動レベル (PAL) f 食事誘発性熱産生 (DIT)
	B エネルギー代謝の測定法	19083 p558, 21081 p557, 23081 別冊p19	a 直接法, 間接法 b 呼気ガス分析 c 呼吸商, 非たんぱく質呼吸商 d 二重標識水法
	C 生体利用エネルギー		a 物理的燃焼値, 生理的燃焼値 b 臓器別エネルギー代謝

●応用栄養学

〈出題のねらい〉

○栄養ケア・マネジメント考え方についての理解を問う。

○食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠についての理解を問う。

○各ライフステージの特徴や運動・スポーツ、環境の生体への影響に基づいた栄養ケア・マネジメントについての基礎的な理解を問う。

大項目	中項目		小項目
1 栄養ケア・マネジメント	A 栄養ケア・マネジメントの概念	23082 別冊p19	a 栄養ケア・マネジメントの定義
	B 栄養ケア・マネジメントの概要	21082 p700, 22082 p704, 22083 p704, 23083 別冊p20	a 栄養スクリーニング b 栄養アセスメント c 栄養ケア計画 d 実施・チェック e モニタリング f 評価 g サービスの評価・継続的な品質改善
2 食事摂取基準	A 策定の基本的事項と留意事項	17086改 p572, 20084改 p566, 21084 p568, 21085 p565, 22084 p576, 22085 p579, 22095 p604, 23084 別冊p20	a 策定方針 b 指標の概要 c 策定した食事摂取基準 d 策定の留意事項
	B 活用に関する基本的事項	22150 p569, 23149 別冊p36	a 活用の基本的考え方 b 食事摂取状況のアセスメントの方法と留意点 c 指標別に見た活用法の留意点 d 目的に応じた活用上の留意点
	C エネルギー・栄養素別食事摂取基準	16088改 p573, 20085改 p578, 21086 p574, 23085 別冊p20	a エネルギー b たんぱく質 c 脂質 d 炭水化物 e エネルギー産生栄養素バランス f ビタミン g ミネラル
	D 対象特性	19085改 p576, 19090改 p586, 20086改 p575, 21087 p601, 23088 別冊p21	a 妊婦・授乳婦 b 乳児 c 小児 d 高齢者
	E 生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連	09097改 p600, 23092 別冊p22,	a 高血圧 b 脂質異常症 c 糖尿病 d CKD
3 成長、発達、加齢	A 成長、発達、加齢の概念	17087 p580, 21088 p580, 22086 p581, 23086 別冊p20	a 成長 b 発達 c 加齢
4 妊娠期、授乳期の栄養管理	A 妊娠期、授乳期の生理的特徴	18089 p584, 22087 p582, 22088 p583, 22089 p583, 23087 別冊p20	a 妊娠の成立・維持 b 胎児の成長 c 母体の生理的変化 d 乳汁分泌の機序 e 初乳、成乳
	B 妊娠期、授乳期の栄養ケア・マネジメント	20089 p587	a やせと肥満 b 貧血 c 妊娠悪阻 d 妊娠糖尿病 e 妊娠高血圧症候群 f 神経管閉鎖障害 g 妊娠前からはじめる妊娠婦のための食生活指針

大項目	中項目		小項目
5 新生児期、乳児期の栄養管理	A 新生児期、乳児期の生理的特徴	19183 p625, 20090 p590, 21090 p589, 23089 別冊p21	a 出生体重による分類 b 体水分量と生理的体重減少 c 呼吸器系 d 循環器系 e 体温調節 f 腎機能 g 摂食機能 h 消化管機能 i 血液・免疫系
	B 新生児期、乳児期の栄養ケア・マネジメント	18092 p594, 19184 p625, 19185 p625, 20091 p591, 21184 p685, 22090 p592, 23171 別冊p43, 23172 別冊p43, 23173 別冊p43	a 母乳性黄疸 b 乳児ビタミンK欠乏性出血症 c 貧血 d 乳児下痢症 e 二次性乳糖不耐症 f 便秘 g 乳児身体発育曲線と栄養評価 h 授乳・離乳の支援ガイド
6 幼児期、学童期、思春期の栄養管理	A 幼児期、学童期、思春期の発達と生理的特徴	16094 p598, 17092 p596, 19094 p598, 22091 p595	a 身体の成長 b 生理機能 c 摂食機能 d 運動機能 e 精神機能 f 生活習慣 g 社会性 h 第二次性徴
	B 幼児期、学童期、思春期の栄養ケア・マネジメント	17093 p597, 18093 p599, 20187 p622, 20188 p622, 23090 別冊p21	a やせと肥満 b 脱水 c う歯 d 偏食 e 摂食障害 f 貧血 g 食物アレルギー h 教育・保育施設における栄養ケア・マネジメントの実践
7 成人期の栄養管理	A 成人期の生理的特徴	22092 p602, 23091 別冊p22	a 内分泌系 b 生殖器系 c 代謝機能
	B 成人期の栄養ケア・マネジメント	22093 p229	a やせと肥満 b 生活習慣病予防 c 更年期障害 d 骨粗鬆症
8 高齢期の栄養管理	A 高齢期の生理的特徴	10101 p606, 21093 p603, 22094 p607, 23093 別冊p22	a 感覚機能 b 咀嚼・嚥下機能 c 消化・吸収機能 d たんぱく質・エネルギー代謝 e 身体能力 f 身体活動 g ADL h IADL
	B 高齢期の栄養ケア・マネジメント	18010 p608, 18097 p605, 20023 p607, 23094 別冊p22	a 低栄養 b 咀嚼・嚥下障害 c 脱水 d 便秘 e フレイル f サルコペニア g ロコモティブシンドローム h 転倒、骨折 i 認知症

大項目	中項目		小項目
9 運動・スポーツと栄養管理	A 運動時の生理的特徴	16097 p609, 21095 p609, 23095 別冊p22	a エネルギー代謝 b 呼吸・循環応答 c 体力
	B 運動の健康への影響		a 健康の維持・増進 b 生活習慣病予防
	C 運動時における栄養ケア・マネジメント	16188 p627, 16189 p627, 17097 p611, 22096 p610	a 運動とトレーニング b 食事内容と摂取のタイミング c エネルギー不足 d 貧血 e 栄養補助食品の利用
10 環境と栄養管理	A ストレス時における栄養ケア・マネジメント	17098 p613, 21096 p614, 23096 別冊p23	a 恒常性の維持とストレッサー b 生体の適応性と自己防衛 c ストレスによる代謝の変動
	B 特殊環境における栄養ケア・マネジメント	21097 p887, 22097 p616, 23002 別冊p2 23097 別冊p23	a 高温・低温環境 b 高圧・低圧環境 c 無重力環境 d 災害時

●栄養教育論

〈出題のねらい〉

○栄養教育の目的に応じた理論と技法についての理解を問う。

○対象者の社会・生活環境や健康・栄養状態の特徴を考慮し、理論や技法を応用した栄養教育の展開についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1 栄養教育のための理論的基礎	A 栄養教育の概念	a 栄養教育の定義と目的 b 食行動の多様性
	B 行動科学の理論とモデル	a 行動科学の定義と栄養教育に必要な理由 b 刺激-反応理論 c 生態学的モデル d ヘルスピリーフモデル e トランスセオレティカルモデル f 計画的行動理論 g 社会的認知理論 h ソーシャルサポート i コミュニティオーガニゼーション j イノベーション普及理論 k ヘルスリテラシー
	C 栄養カウンセリング	a 行動カウンセリング b カウンセリングの基礎的技法 c 認知行動療法 d 動機づけ面接
	D 行動変容技法と概念	a 刺激統制 b 反応妨害・拮抗 c 行動置換 d オペラント強化 e 認知再構成 f 意思決定バランス g 目標宣言、行動契約 h セルフモニタリング i 自己効力感（セルフ・エフィカシー） j ストレスマネジメント k ソーシャルスキルトレーニング l ナッジ
	E 組織づくり・地域づくり・食環境づくりへの展開	a セルフヘルプグループ b グループダイナミクス c エンパワメント d 栄養教育と食環境づくり

大項目	中項目	小項目	
2 栄養教育マネジメント	A 栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル	20104 p663, 21105 p660, 22107 p664, 23106 別冊p26	a プリシード・プロシードモデル b ソーシャルマーケティング
	B 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント	22108 p664	a アセスメントの種類と方法
	C 栄養教育の目標設定	15200 p340, 18187 p108, 21108 p666, 22109 p665, 22188 p683, 23107 別冊p26	a 目標設定の方法 b 実施目標 c 学習目標 d 行動目標 e 環境目標 f 結果目標
	D 栄養教育計画立案	15118 p667, 19110 p668, 20108 p668, 21109 p677, 23108 別冊p26	a 学習者と学習形態及び場の決定 b 期間・時期・頻度・時間の設定 c 実施者の決定とトレーニング d 教材の選択と作成
	E 栄養教育プログラムの実施	16110 p670	a モニタリング b 実施記録・報告
	F 栄養教育の評価	17112 p673, 18112 p674, 18113 p671, 18188 p108, 19112 p675, 20109 p789, 22110 p676, 22151 p673, 22189 p683, 22190 p683, 23109 別冊p26, 23110 別冊p27	a 評価指標と評価基準の設定 b 企画評価 c 経過評価 d 影響評価 e 結果評価 f 形成的評価 g 総括的評価 h 経済評価 i 総合的評価
3 理論や技法を応用した栄養教育の展開	A 多様な場（セッティング）におけるライフステージ別の栄養教育の展開	18110 p776, 19114 p678, 20110 p677, 22171 p619, 22172 p619, 22173 p619, 23185 別冊p49	a 保育所・認定こども園・幼稚園における栄養教育の展開 b 小・中・高等学校、大学における栄養教育の展開 c 地域・職域における栄養教育の展開 d 高齢者福祉施設や在宅介護の場における栄養教育の展開 e 栄養と環境に配慮した栄養教育の展開

●臨床栄養学

〈出題のねらい〉

○傷病者や要支援者・要介護者の栄養ケア・マネジメントについての理解を問う。

○疾病的治療・増悪防止や栄養・食事支援を目的として、個別の疾患・病態や栄養状態の心身機能の特徴に応じた適切な栄養管理の方法についての理解を問う。なお、小児期は成長に必要な栄養素量、また、高齢期はフレイルなどの加齢による身体・生理機能変化及び多疾患併存を考慮した栄養管理の方法についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1 臨床栄養の概念	A 意義と目的	a 傷病者や要支援者・要介護者への栄養ケア・マネジメント b 内部環境の恒常性と栄養支援、栄養状態の改善 c 疾患の予防 d 疾患の治癒促進 e 疾患の増悪化と再発の防止 f 社会的不利とノーマリゼーション g QOL（生活の質、人生の質）の向上
	B 医療・介護制度の基本	a 医療保険制度 b 介護保険制度 c 医療・介護保険における栄養に関する算定の基本
	C 医療と臨床栄養	a 医療における栄養管理の意義 b 医療における倫理 c クリニカルパスと栄養管理 d チーム医療 e リスクマネジメント f 傷病者の権利 g インフォームド・コンセント
	D 福祉・介護と臨床栄養	a 福祉・介護における栄養管理の意義 b 福祉・介護における管理栄養士の役割 c チームケア d 在宅ケアと施設連携、地域包括ケアシステム
2 傷病者・要支援者・要介護者の栄養管理	A 栄養アセスメントの意義と方法	a 栄養スクリーニングの意義と方法 b 傷病者への栄養アセスメント c 要支援者・要介護者への栄養アセスメント d 栄養アセスメントの具体的方法；問診、臨床診査、身体計測、臨床検査、栄養・食事調査
	B 栄養管理の目標設定と計画作成	a 目標の設定 b 栄養投与量の算定 c 栄養補給法の選択 d 多職種との連携
	C 栄養・食事療法と栄養補給法	a 栄養・食事療法と栄養補給法の歴史と特徴 b 経口栄養法 c 経腸栄養法 d 静脈栄養法

大項目	中項目	小項目
	D 傷病者、要支援者・要介護者への栄養教育	22185 p736 a 傷病者への栄養教育；外来、入院、退院、在宅ケア b 要支援者・要介護者への栄養教育；施設、居宅
	E モニタリングと再評価	22117 p720 a 臨床症状や栄養状態のモニタリング b 栄養投与量の再評価 c 栄養補給法の再評価 d 栄養管理の修正
	F 栄養管理の記録	13131 p717, 20117 p718, 21119 p719, 23116 別冊p28 a 栄養管理記録の意義 b 問題志向型システム (POS : problem oriented system) の活用
	G 薬と栄養・食事の相互作用	18122 p208, 19120 p721, 20124 p722, 21118 p722, 23115 別冊p28 a 栄養・食品が医薬品に及ぼす影響 b 医薬品が栄養・食事に及ぼす影響
3 疾患・病態別栄養管理	A 栄養障害における栄養ケア・マネジメント	19123 p176, 21120 p506, 23117 別冊p28 a たんぱく質・エネルギー栄養障害 (PEM), 栄養失調症 b ビタミン欠乏症・過剰症 c ミネラル欠乏症・過剰症
	B 肥満と代謝疾患における栄養ケア・マネジメント	14035 p194, 18123 p326, 18181 p326, 18183 p326, 19124改 p179, 19125改 p189, 20119 p177, 20122 p192, 21116 p188, 21117 p276, 21122 p193, 22120 p187, 22121 p191, 23118 別冊p29, 23120 別冊p29, 23121 別冊p29, 23174 別冊p44, 23175 別冊p45, 23176 別冊p45 a 肥満、メタボリックシンドローム b 糖尿病 c 脂質異常症 d 高尿酸血症、痛風
	C 消化器疾患における栄養ケア・マネジメント	17129 p218, 18130 p215, 19127 p209, 19128 p214, 20125 p213, 20174 p337, 20175 p337, 20176 p337, 21123 p221, 21172 p335, 21173 p335, 22122 p207, 22123 p219, 23122 別冊p30, 23123 別冊p30, 23124 別冊p30 a 口内炎、舌炎 b 胃食道逆流症 c 胃潰瘍、十二指腸潰瘍 d たんぱく漏出性胃腸症 e 炎症性腸疾患；クローン病、潰瘍性大腸炎 f 過敏性腸症候群 g 便秘、下痢 h 肝炎 i 肝硬変 j 脂肪肝、NAFLD・NASH k 胆石症、胆囊炎 l 膵炎

大項目	中項目	小項目	
	D 循環器疾患における栄養ケア・マネジメント	15141 p240, 17132 p236, 18132 p233, 19130 p230, 20116 p231, 20126 p231, 20127 p235, 21124 p234, 22124 p235, 22125 p239, 23125 別冊p30	a 高血圧症 b 動脈硬化症 c 狹心症, 心筋梗塞 d 心不全 e 不整脈; 心房細動, 心室細動, 心室頻拍 f 脳出血, 脳梗塞, くも膜下出血
	E 腎・尿路疾患における栄養ケア・マネジメント	18133改 p253, 19131 p249, 19133 p260, 20128改 p254, 20129 p251, 20130 p260, 21125 p255, 21126 p259, 22126 p252, 22127 p256, 22180 p323, 22181 p323, 22182 p324, 23126 別冊p31, 23127 別冊p31	a 急性糸球体腎炎 b ネフローゼ症候群 c 急性腎障害 (AKI) d CKD: [糖尿病性腎臓病 (DKD): 糖尿病腎症], 慢性糸球体腎炎, 腎硬化症 e 血液透析, 腹膜透析
	F 内分泌疾患における栄養ケア・マネジメント	20131 p269, 21127 p265, 22128 p268	a 甲状腺機能亢進症・低下症 b クッシング病・症候群
	G 神経疾患における栄養ケア・マネジメント	16190 p333, 16191 p333, 23128 別冊p31	a 認知症 b パーキンソン病・症候群
	H 摂食障害における栄養ケア・マネジメント	20132 p723, 23129 別冊p31	a 神経性やせ症 b 神経性過食症
	I 呼吸器疾患における栄養ケア・マネジメント	20180 p331, 20181 p331, 21128 p713, 21129 p282, 23130 別冊p32, 23177 別冊p46, 23178 別冊p46, 23179 別冊p46	a COPD b 気管支喘息 c 肺炎
	J 血液系の疾患・病態における栄養ケア・マネジメント		a 貧血 b 出血性疾患
	K 筋・骨格疾患における栄養ケア・マネジメント	22131 p290, 23131 別冊p32	a 骨粗鬆症 b 骨軟化症, くる病 c 变形性関節症 d サルコペニア e ロコモティブシンドローム
	L 免疫・アレルギー疾患における栄養ケア・マネジメント	18138 p315, 21131 p316, 22132 p317, 22174 p342, 22177 p329, 22178 p329, 23132 別冊p32	a 食物アレルギー b 膠原病, 自己免疫疾患 c 免疫不全
	M 感染症における栄養ケア・マネジメント	21132 p731	a 感染症, 敗血症

大項目	中項目	小項目	
	N 癌における栄養ケア・マネジメント	18139 p724, 19186 p742, 22133 p725, 22186 p738, 22187 p738, 23133 別冊p32	a 消化管の癌：食道、胃、結腸、直腸 b 消化管以外の癌：肺、肝、脾、白血病 c 化学療法、放射線治療、緩和ケア d 終末期医療（ターミナルケア）
	O 手術、周術期患者における栄養ケア・マネジメント	20134 p726, 20177 p744, 20178 p744, 20179 p744, 22130 p728, 22134 p727, 23134 別冊p32, 23180 別冊p47, 23181 別冊p47, 23182 別冊p47	a 消化管の術前、術後 b 消化管以外の術前・術後
	P クリティカルケアにおける栄養ケア・マネジメント	20135 p730, 21134 p729, 23135 別冊p33	a 集中治療 b 外傷、熱傷
	Q 摂食機能障害における栄養ケア・マネジメント	15150 p732, 19140 p733, 20095 p732, 23183 別冊p48, 23184 別冊p48	a 咀嚼・嚥下障害 b 口腔・食道障害
	R 要介護、身体・知的障害における栄養ケア・マネジメント	19142 p734	a 身体障害 b 知的障害 c 精神障害 d 榛瘡
	S 乳幼児・小児疾患における栄養ケア・マネジメント	21135 p197, 22135 p198	a 消化不良症 b 周期性嘔吐症 c 小児肥満 d 先天性代謝異常 e 糖尿病 f 腎疾患
	T 妊産婦・授乳婦疾患における栄養ケア・マネジメント	21136 p299, 22136 p297	a 妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠 b 妊娠高血圧症候群

●公衆栄養学

〈出題のねらい〉

○わが国や諸外国の健康・栄養問題に関する動向とそれらに対応した主要な栄養政策についての理解を問う。

○地域診断を通じた集団・地域における人々の健康・栄養状態及び社会・生活環境の特徴に基づいた公衆栄養活動についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目	
1 公衆栄養の概念	A 公衆栄養の概念	a 公衆栄養の意義と目的 b 生態系と食料・栄養 c 保健・医療・福祉・介護システムと公衆栄養 d コミュニティと公衆栄養活動	
	B 公衆栄養活動の基本と展開過程	22137 p749, 23137 別冊p33	a 公衆栄養活動の歴史 b 少子・高齢社会における健康増進 c 疾病予防のための公衆栄養活動 d ヘルスプロモーションのための公衆栄養活動 e エンパワーメントと公衆栄養活動 f 住民参加による公衆栄養活動 g ソーシャル・キャピタルの醸成と活用 h 持続可能性（サステナビリティ）を踏まえた公衆栄養活動 i 多職種連携・多機関連携
2 健康・栄養問題の現状と課題	A 食事の変化	20138 p766, 21138 p766, 22138 p765, 23138 別冊p33	a エネルギー・栄養素摂取量 b 食品群別摂取量 c 料理・食事パターン
	B 食生活の変化		a 食行動、食知識、食態度、食スキル b 健康格差
	C 食環境の変化	20139 p751, 22139 p750, 23139 別冊p34	a フードシステム b 食情報の提供 c フードバランスシート（食料需給表） d 食料自給率
	D 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題	22140 p97, 23140 別冊p34	a 先進諸国の健康・栄養問題 b 開発途上国の健康・栄養問題と地域間格差
3 栄養政策	A わが国の公衆栄養政策と活動	19148 p754	a 健康づくり施策と公衆栄養活動の役割 b 公衆栄養活動と組織・人材育成 c 食料安全保障
	B 公衆栄養関連法規	17148 p757, 19149 p753, 20142 p754, 20143 改 p760, 22141 p755, 23141 別冊p35, 23142 別冊p35	a 地域保健法 b 健康増進法 c 食育基本法
	C 管理栄養士・栄養士制度と職業倫理	21142 p758, 22142 p759, 23143 別冊p35	a 栄養士法 b 管理栄養士・栄養士の社会的役割 c 管理栄養士・栄養士制度の沿革 d 管理栄養士・栄養士養成制度 e 職業倫理
	D 国の健康増進基本方針と地方計画	20005 p767, 21144 p45	a 国の基本方針策定の目的・内容 b 基本方針の推進と地方健康増進計画 c 食育推進基本計画策定の目的・内容 d 食育の推進と地方食育推進計画
	E 国民健康・栄養調査	12152 p60, 20145 p763, 22143 p763, 23144 別冊p35	a 調査の目的・沿革 b 調査の内容・方法
	F 実施に関連する指針、ツール	19152 p768, 20152 p769, 23145 別冊p35	a 食生活指針 b 食事バランスガイド
	G 諸外国の健康・栄養政策	21145 p99, 22145 p100	a 公衆栄養活動に関係する国際的な行政組織と活動 b 公衆栄養関連計画 c 食事摂取基準 d 食生活指針、フードガイド e 栄養士養成制度

大項目	中項目		小項目
4 栄養疫学	A 栄養疫学の概要	18190 p104	a 栄養疫学の役割 b 公衆栄養活動への応用
	B 曝露情報としての食事摂取量	20147 p772, 20193 p794, 20194 p794, 22146 p772, 22194 p792, 23148 別冊p36	a 食物と栄養素 b 食事摂取量の変動と測定誤差 c 日常的な食事摂取量
	C 食事摂取量の測定方法	15160 p774, 20196 p796, 21147 p773, 22147 p774, 22148 p776, 23146 別冊p36, 23197 別冊p53	a 24時間食事思い出し法と食事記録法：秤量法、目安量法 b 食物摂取頻度調査法とその妥当性・再現性 c 食事摂取量を反映する身体計測値・生化学的指標
	D 食事摂取量の評価方法	13160 p780, 14163 p779, 21148 p777, 22195 p792, 23147 別冊p36, 23198 別冊p54	a 総エネルギー調整栄養素摂取量 b データの処理と解析
5 地域診断と公衆栄養マネジメント	A 公衆栄養マネジメント	22149 p781	a 地域診断の意義と目的 b 公衆栄養マネジメントの考え方・重要性 c 公衆栄養マネジメントの過程
	B 公衆栄養アセスメント	15164 p770, 15165 p783, 18156 p17, 19109 p784, 20195 p796, 21188 p800, 21191 p806	a 公衆栄養アセスメントの目的と方法 b 地域診断の方法 c 食事摂取基準の地域集団への活用 d 量的調査と質的調査の意義 e 観察法と活用 f 質問調査の方法と活用：質問紙法、インタビュー法 g 既存資料活用の方法と留意点
	C 公衆栄養プログラムの目標設定	13192 p799, 16199 p110, 17156 p786, 18157 p787, 18196 p803, 18197 p803, 21189 p800, 21192 p806, 23200 別冊p56	a 公衆栄養アセスメント結果からの状況把握 b 改善課題の抽出 c 課題設定の目的と相互の関連 d 改善課題に基づく改善目標の設定 e 目標設定の優先順位
	D 公衆栄養プログラムの計画、実施、評価	16159 p83, 16200 p110, 17157 p782, 19198 p102, 20151 p788, 21151 p788, 21190 p800, 21193 p806, 21194 p805, 23195 別冊p53, 23199 別冊p56	a 地域社会資源の把握と管理 b 運営面・政策面のアセスメント c 計画策定 d 住民参加の方法 e プログラムに関連する関係者・機関の役割 f 評価の意義と方法 g 評価の実際

大項目	中項目		小項目
6 公衆栄養プログラムの展開	A 地域特性に対応したプログラムの展開	21152 p88, 23151 別冊p37	a 健康づくり b 食育 c 介護予防・在宅療養・介護支援 d 地域包括ケアシステムの構築 e 健康・食生活の危機管理と食支援
	B 食環境整備のためのプログラムの展開	17159 p791, 18189 p104, 19108 p790, 20197 p796, 22196 p792, 23152 別冊p37	a 食物・食情報へのアクセスと食環境整備 b 栄養成分の表示の活用 c 特別用途食品の活用 d 「健康な食事」の普及啓発
	C 地域集団の特性別プログラムの展開	23150 別冊p37	a ライフステージ別：妊娠期・授乳期、新生児期・乳児期、成長期、成人期、高齢期 b 生活習慣病ハイリスク集団

●給食経営管理論

〈出題のねらい〉

○給食の意義及び給食経営管理の概要についての理解を問う。

○特定多数人に食事を提供する給食施設における利用者の身体の状況、栄養状態、生活習慣などに基づいた食事の提供に関わる栄養・食事管理についての理解を問う。

○給食の運営方法とそのマネジメントについての理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1 給食の概念	A 給食の概要 15171 p814, 22153 p813, 22154 p815, 23153 別冊p38, 23154 別冊p38	a 給食の意義と目的 b 健康増進法における特定給食施設
	B 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規 14171 p814, 19164 p812, 19178 p818, 19180 p819, 20156 p811, 20189 p622, 21155 p816, 22155 p816	a 医療施設 b 高齢者・介護福祉施設 c 児童福祉施設 d 障害者福祉施設 e 学校 f 事業所
2 給食経営管理の概念	A 給食システム 20155 p820, 21154 p820, 23155 別冊p38	a 給食システムの概念 b トータルシステムとサブシステム
	B 給食経営の概要と組織 17166 p832, 19168 p822, 19169 p717, 19172 p829, 21156 p823, 22156 p821, 23157 別冊p39, 23161 別冊p40	a 経営管理の機能と展開 b 組織の構築と関連分野との連携 c 給食運営業務の外部委託
	C 給食とマーケティング 18167 p826, 20160 p824, 21160 p825, 23160 別冊p39	a マーケティングの原理 b 給食におけるマーケティングの活用
	D 給食経営の資源と管理 16194 p889, 16195 p889, 17180 p831, 20158 p827, 20159 p828, 21157 p827, 21158 p830, 22158 p833, 23158 別冊p39, 23159 別冊p39	a 給食経営の資源 b 給食の原価構成と収支構造 c 給食運営における人的資源 d 給食業務従事者の教育・訓練
3 栄養・食事管理	A 食事の計画と実施 17167 p837, 18168 p833, 19166 p840, 20162 p837, 21161 p835, 22160 p856, 23162 別冊p40, 23163 別冊p41	a 利用者の身体状況、生活習慣、食事摂取状況の把握 b 給与エネルギー量と給与栄養素量、食事形態の計画 c 食品構成、献立作成基準の意義 d 献立の役割、機能 e 個別対応の方法 f 適切な食品・料理選択のための情報提供
	B 食事計画の評価、改善 15182 p858, 18169 p834, 22159 p845, 22161 p839, 23164 別冊p41	a 食事計画の評価と改善方法

大項目	中項目	小項目	
4 給食経営における品質管理、生産管理、提供管理	A 品質と標準化	14181 p845, 17169 p840, 17178 p849, 18174 p846, 21162 p843, 21163 p842, 22162 p841, 22163 p847, 23165 別冊p41, 23187 別冊p50, 23188 別冊p50, 23192 別冊p52	a 給食経営における品質と品質管理の意義 b 給食の品質基準と献立の標準化 c 調理工程と調理作業の標準化 d 大量調理の特性の理解と大量調理機器を活用した品質管理
	B 食材料	12183 p850, 16170 p850, 20166 p852, 21164 p851, 22164 p852	a 食材料の選択 b 購買と検収 c 食材料の保管・在庫管理
	C 生産（調理）と提供	20198 p893, 20199 p893, 21166 p857, 22157 p855, 22165 p854, 22166 p843, 23166 別冊p42, 23167 別冊p42	a 給食のオペレーションシステム b 生産計画と人員配置；調理工程、作業工程 c 生産性とその要因
	D 提供サービス	16174 p858, 18173 p859, 22167 p856	a 配膳・配食における精度管理、配食・配膳システム b 食事環境の設備
5 給食の安全・衛生	A 安全・衛生の概要と運用	12186改 p865, 15181 p869, 17176 p868, 17177 p873, 18176 p865, 18177 p878, 18193 p895, 18194 p895, 18195 p895, 20168 p876, 20169 p871, 21167 p885, 21168 p863, 21169 p875, 22168 p878, 22170 p860, 23169 別冊p42	a 給食におけるHACCPの運用 b 衛生教育；一般的衛生管理プログラム c 大量調理施設衛生管理マニュアル d 安全・衛生のための施設と設備
	B 事故・災害時対策	15169 p886, 18178 p882, 18179 p886, 19179 p877, 20170 p861, 20200 p893, 21196 p898, 21197 p898, 21198 p898, 21199 p891, 21200 p891, 22152 p888, 22169 p884, 22199 p897, 22200 p897, 23168 別冊p42, 23170 別冊p42, 23193 別冊p52, 23194 別冊p52	a 事故の状況と対応；食中毒、異物混入、誤配膳、食物アレルギー対応 b 危機管理対策；インシデント、アクシデント管理の意義 c 災害時の給食の役割と対策の意義 d 災害時のための貯蔵と献立

●応用力試験

〈出題のねらい〉

○個人又は集団のライフステージ、ライフスタイル、身体状況、栄養状態、食環境等の状況を踏まえ、管理栄養士として、多職種連携による栄養ケア・マネジメント等を実践する上で必要とされる知識、思考・判断力を問う。

○地域診断に基づき、社会資源を有効活用し、食環境整備等のアプローチも含めて地域の栄養課題の解決を図る上で必要とされる知識、思考・判断力を問う。

大項目	中項目
1 栄養管理	A 個人の身体状況、栄養状態及び病態に応じた適切な栄養補給、食事に関するマネジメント
	B 特定の集団や地域における人々の健康・栄養状態や社会資源に応じた適切な食事や食生活の支援に関するマネジメント

※マネジメントとは、アセスメント、計画、実施、モニタリング、評価、フィードバックのいずれかの過程の状況に関することとする。